

インフルエンザ定点(小児科定点を含む)

インフルエンザ: 報告数は2,551件(前月比0.4、前年比1.5)でした。2月をピークに3月、4月と半減していますが、前年比1.5の報告数です。人吉、宇城、八代からの報告が多いです。

小児科定点

(全体傾向) 報告数は5,924件(前月比0.6、前年比1.0)でした。前月の6割に減少しています。インフルエンザの減少(前月比0.4)が大きな要因です。RSウイルス感染症も前月比(0.2)と減少しています。報告数は少ないですが、手足口病(前月比3.3)、ヘルパンギーナ(前月比2.1)が増加してきています。感染性胃腸炎は昨年12月以来2,000件台の多数の報告が続いています。

(疾患別傾向)

1. RSウイルス感染症: 20件(前月比0.2、前年比0.8)でした。昨年12月をピークに減少を続け、4月は20件の報告でした。例年の傾向です。
2. 咽頭結膜熱: 79件(前月比0.7、前年比1.1)でした。3月をピークに減少に転じました。菊池、有明からの報告が多く、1歳代が多いです。
3. A群溶連菌咽頭炎: 289件(前月比0.8、前年比1.3)でした。昨年1年間を通じ報告数が多い状態が続いていましたが、今年に入っても300人前後の報告が続いています。人吉、熊本からの報告が多いです。3歳~14歳に多くみられます。
4. 感染性胃腸炎: 2,072件(前月比0.8、前年比0.8)でした。1月から減少傾向が続いています。山鹿、有明、人吉からの報告が多いです。例年これからは報告数が減少してくる時期ですが、インフルエンザの時期を除き報告数としては最も多い感染症ですので、1年を通して注意が必要です。全年齢層に分布しています。
5. 水痘: 287件(前月比0.7、前年比0.6)でした。今年に入ってから報告は例年以下で推移しています。水俣、菊池からの報告が多いです。
6. 手足口病: 13件(前月比3.3、前年比0.3)でした。例年並みの少数の報告に留まっていますが、前月比3.3を示しこれから夏に向けて注意が必要です。
7. 伝染性紅斑: 24件(前月比1.0、前年比0.3)でした。昨年8月より少数の報告が続いています。
8. 突発性発しん: 156件(前月比0.8、前年比1.0)でした。特記すべき変化はみられません。
9. 百日咳: 1件(前月比—、前年比1.0)でした。熊本から1件、3歳児の報告です。
10. ヘルパンギーナ: 61件(前月比2.1、前年比1.0)でした。例年並みの少ない報告数ですが、これから流行期を迎える疾患なので注意が必要です。天草からの報告が多いです。
11. 流行性耳下腺炎: 172件(前月比0.7、前年比0.5)でした。今年に入り、少ない報告数で推移しています。水俣、宇城、天草からの報告が多いようです。ほとんどは1歳~14歳の報告ですが、20歳代の報告が2例でした。

眼科定点

1. 急性出血性結膜炎： 報告はありません。
2. 流行性角結膜炎： 報告40件(前月比 0.7、前年同月 0.8)と減少しています。地区別では熊本29件、菊池1件、有明8件、宇城2件と熊本以外では有明地区で多く発症しています。

STD定点

1. 性器クラミジア感染症: 報告数 19件(前月比 0.4、前年比 0.3)でした。前月比、前年比とも著明に減少しています。男女別は、女性が16件と圧倒的に多く見られています。年齢別は、女性は20～24歳に7件と多く、男性では20～44歳に見られています。地域別は、熊本17件と圧倒的に多く、次いで御船に2件でした。
2. 性器ヘルペスウイルス感染症:
報告数 16件(前月比 1.0、前年比 0.8)でした。前月比と同数でしたが、前年比では減少しています。男女別は、女性が12件と多く見られました。年齢別は、女性で20～70歳以上、男性でも30～54歳以上と幅広く見られています。地域別は、熊本が9件と多く、次いで八代4件、宇城2件、御船1件でした。
3. 尖圭コンジローマ: 報告数は5件(前月比 0.6、前年比 0.7)でした。前月比、前年比とも減少しています。男女別は、女性に3件と多く見られています。年齢別は、女性では20～34歳、男性では25～29歳、35～39歳に各1件みられています。地区別は、熊本3件、八代、宇城に1件でした。
4. 淋菌感染症: 報告数は9件(前月比 1.1、前年比 0.6)でした。前月比でやや増加していますが、前年比では減少しています。男女別は、男性に8件と圧倒的に多くみられています。年齢別は、男性は20～54歳、女性では20～24歳にみられています。地区別は、熊本6件と多く、次いで宇城2件、有明1件でした。

基幹定点

(週報分)

1. 細菌性髄膜炎: 報告数2件(前月比 2.0、前年同月比 2.0)でした。
2. 無菌性髄膜炎: 報告数3件(前月比 3.0、前年同月比 3.0)でした。
3. マイコプラズマ肺炎: 報告数12件(前月比 1.0、前年同月比 3.0)でした。
4. クラミジア肺炎: 報告数0件(前月比 -1、前年同月比 -2)でした。

(月報分)

1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症:
報告数82件(前月比 1.3、前年同月比 1.3)でした。57件(70%)が70歳以上でした。

2. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症:
報告数9件(前月比 2.3、前年同月比 0.9)でした。
3. 薬剤耐性緑膿菌感染症: 報告数1件(前月比 +1、前年同月比 +1)でした。
4. 薬剤耐性アシネトバクター感染症:
報告数1件(前月比 +1、前年同月比 +1)でした。

届け出対象感染症

- 1類感染症: 報告はありませんでした。
- 2類感染症: 結核:34件
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症:2件
- 4類感染症: A型肝炎:1件
つつが虫病:1件
デング熱:1件
- 5類感染症(全数把握): 劇症型溶血性レンサ球菌感染症:1件
後天性免疫不全症候群:1件
梅毒:5件
破傷風:2件